京都橘大学心理臨床センター　感染症対策ガイドライン

（2023 年 5 月 8 日から適用）

＜１＞みなさまに来所していただくときのお願い

１）来所前に、検温と健康チェックを実施していただき、37 度を超える発熱や体調不良がある場合、その日はお休みしてくださるようお願いいたします。

２）来所したらすぐ、面接室やプレイルームに入る前に、手指の消毒をお願いいたします。

３）プレイセラピー中に、お子さんの感染リスクの高い行動については、担当者から制限させていただく可能性がございます。（詳細は、スタッフ行動ガイドラインの４）をご覧ください）

＜２＞運営に関するガイドライン

１）セッション終了後、25 分間を清掃・消毒に充てる。部屋とおもちゃ・家具等備品、共有部分のドアノブ・受付カウンター等の清掃、消毒を行う。唾液などがついたものは必ずアルコール清拭を行う。

２）すべての部屋について、換気を十分に行う。

３）飛沫防止アクリル板とぬいぐるみの使用については、状況に応じて担当者の判断（SV 等の指導を含む）および来談者との協議の結果、ケースごとに決定する。

４）箱庭および砂場の砂は、必要に応じて、消毒を行う。

＜３＞スタッフの行動ガイドライン

１）検温と健康チェックを実施し、37 度を超える発熱や体調不良がある場合、出勤しない。

２）センター到着時には、手指の消毒を行う。

３）マスクの着用については、以下の通りとする。
①来談者が感染症予防を目的としてマスク着用の場合、担当者も原則としてマスクを着用する。
②来談者がマスクを着用しない場合、担当者のマスク着用は、本人の判断（SV 等の指導を含む）および来談者との協議の結果ケースごとに決定する。
③プレイセラピーの場合、来談者の保護者と協議する。

４）セッション中は、来談者との身体接触に注意する。お子さんが、手やおもちゃを口に持っていこうとする場合など、感染リスクの高い行動については、制止する。そうした行動をしてしまった場合、必要に応じて直ちに、手指消毒や該当部分の洗浄、うがい、おもちゃの洗浄・消毒（できない場合はおもちゃを預かる）もその場で行う。

５）来談者のお見送りの後、ただちに清掃・消毒作業に入り、次の枠の開始までに完了する。そのケースの担当者が主となって行うが、手の空いているスタッフは協力する。

６）使用済みのマスクや清掃に使った紙類は、指定された場所に廃棄する。

７）その他、現場での対応はすべて、その場にいる相談員・相談担当教員の指示に従う。